

■ 齋藤団四郎種苗店 代表 齋藤 伸 二



92



【家業を継ぐ】

平成元年に事業専従者として家業に携わり25年になります。平成21年に商工会の指導を仰ぎ父より事業を承継し、今年で5年目を迎えました。

当店はその名のとおり種苗店です。野菜や花の種・苗・生産資材を取り扱っております。

当時は何をすることも全く分からず失敗の繰り返しで、今思うと赤面してしまいます。

このままではいけない、と奮起したのは20代の半ばでした。

取引先の講習会や農場研修会等には積極的に参加し、また、お客様自身も長年農業を経験されている方々が多く私にとっては、お客様からも良い勉強の機会を得ました。お客様から育てていただいた、と云っても過言ではないと思います。その後、この地域の気候にあった野菜や花の品種を取り入れ、そのノウハウを紹介し、地元のプロデューサー・JA・種苗店の三者が一体となり、花苗等の産地化に取り組んで来ました。

【出前商店街のこと】

にかほ市商工会では、平成22年度より「おらほのふれあいべり市 出前商店街」事業を月2回のペースで開催しております。

買い物が困難になってきている高齢者の多い地域に、それぞれの業種のお店が、食料品・衣料品・日用品等を持ち寄り、店を開きま

す。

にかほ市は、海辺から鳥海山の麓まで集落が点在し、中心部のお店までの交通手段がなかったり、遠出できなく不便を来している方々が多くあります。商工会の協議会で、ならば「お店の方から出向けば良いんじゃない!!」と商工会が主導し『出前商店街振興会』を設立、一加盟店として当初から参加してきました。

最初は、手探り状態で、採算も度外視。それでも「継続は力成り」と、商工会や加盟店皆さんの努力と責任感で、年々この事業も認知され、各地域のお客様より好評を得ております。お客様とのふれあいと笑顔の会話が、商売を忘れての、心穏やかな時です。



【経営方針のこと】

スーパーの店頭で置かれたキャベツ・トマト・ネギや切花、花苗等々。きれいで美味しそうに見えます。ここまで立派にするために生産者は、どれ程の苦勞と経費をかけているのでしょうか。

私達種苗店は、種子を売るときその品種の特長や耐病性等を説明して販売します。

同じ種子を蒔いても、良くできる農家や失敗する農家、様々あります。失敗の原因には、何んらかがあるはず、と良く聞いてみると「なるほど」と、原因がわかり、次回に繋がるように説明しています。そして丈夫に良くできた話を

聞くと、やはり遣り甲斐を感じます。

農業は自然相手。天候の変化に機敏に対応しなければなりません。種一粒から栽培し、収穫・出荷まで手間暇の掛かる大変な仕事だと感じております。

取引先や市場の関係者などからも協力を頂き、種苗店は、生産者の身近な存在でありたい。生産者の声に何時でも応えられるよう、人との繋がりを大切に経営を成していきたいと思っております。種苗商は、流通の原点の商売。”縁の下の力持ち”を座右の銘とし、今後もお客様のニーズに応え、地域の農業を応援して行きます。

【終わりに】

団四郎家は、250年以上になります。昔、お婆さんが種などを背負って売りに歩いた、と聞いております。先祖代々、苦勞して守ってきて現在があるのです。

ご先祖様に感謝の気持ちを忘れず経営し、次代に繋ぎ恩に報いたいと思っております。



齋藤団四郎種苗店

〒018-0402 にかほ市平沢字中町92

電話番号 0184-35-3452

URL <http://www.shokokai.or.jp/05/0540111312/index.htm>